



NJ日本人学校 ハウスフーズ見学 豆腐について学習

ニュージャージー日本人学校(白井治久校長)3年生は11月29日、ニュージャージー州にある「ハウスフーズ」に社会科学習の一環として豆腐工場見学に出かけた。まず、工場の歴史や豆腐について分かりやすく教えていただき、1日に12万丁もの豆腐を作っていることやそのために大豆を20トン使うことを知り、とても驚いていた。その後、児



童たちは工場の生産ラインを間近で見学した。この工程では何をしているのか解説してもらい、メモをとりながら真剣に観察していた。最後に、豆腐作りを体験し、豆乳の種類で味や豆腐のかたさに違いがあることを知り、「今まで食べた中で一番おいしい豆腐」と満面の笑みを浮かべていた。この日の学習を通して、1丁の豆腐ができるまでにさまざまな工程や工夫があることを知り、自分の口に入る豆腐のおいしさやありがたみを実感しているようだった。